

◎ 認知症についての相談や治療を行っている「医療機関」一覧

地域	医療機関名	所在地	電話番号	相談・専門医紹介	認知機能検査	画像検査	認知症の治療
一関	秋保クリニック	南新町55	32-5105	○	—	—	○
	阿部内科クリニック	竹山町5-34	23-2918	○	○	—	—
	一関中央クリニック	中央町二丁目4-2	21-1222	○	○	○	○
	一関病院	大手町3-36	23-2050	○	○	○	○
	いとう脳神経内科	上坊4-12	21-8200	○	○	○	○
	南光病院	狐禅寺字大平17	23-3655	○	○	○	○
	岩手病院	山目字泥田山下48	25-2221	○	○	○	○
	及川内科胃腸科クリニック	字鳴神74	31-3131	○	○	—	○
	小野寺内科循環器科	末広一丁目4-40	23-5600	○	○	—	○
	笠原耳鼻咽喉科医院	五代町5-3	23-4916	○	—	—	—
	桂島医院	駅前22	21-8883	○	○	—	○
	菊池医院	銅谷町12-16	23-7100	○	○	—	○
	木村消化器内科	三関字仲田32-3	21-1311	○	—	—	○
	西城医院	舞川字中里65	28-2393	○	○	—	○
	齊藤産婦人科医院	中央町二丁目9-20	23-6946	○	○	—	—
	佐藤循環器内科医院	山目町一丁目6-27	23-9678	○	—	—	○
	昭和病院	田村町6-3	23-2020	○	○	○	○
	寺崎内科胃腸科医院	青葉一丁目6-10	23-6211	○	○	—	○
	千葉内科医院	山目字才天227	25-3211	○	○	○	○
	中里クリニック	石畑6-29	32-5888	○	○	—	○
中野内科循環器科クリニック	山目字中野57-1	33-2311	○	—	—	○	
むらかみクリニック	銅谷町3-10	31-2888	○	○	—	○	
千和クリニック	桜木町3-19	34-8811	○	—	○	—	
やまと在宅診療所一関	宮坂町2-9	34-7025	○	○	—	○	
花泉	菅原内科循環器科医院	花泉町涌津字道下52-26	82-5528	○	—	○	
大東	大東病院	大東町大原字川内128	72-2121	○	○	○	○
	菅野内科医院	大東町摺沢字摺沢駅68	75-2772	○	○	—	○
千厩	千厩病院	千厩町千厩字草井沢32-1	53-2101	○	○	○	○
	奥玉診療所	千厩町奥玉字石ノ御前8-1	56-2751	○	○	—	○
	千厩ひかりクリニック	千厩町千厩字石堂13-12	51-1156	○	○	○	○
	たかがね内科泌尿器科クリニック	千厩町千厩字構井田40	51-1377	○	—	—	—
	谷藤内科医院	千厩町千厩字町20	51-3355	○	○	○	○
菜の花クリニック千厩	千厩町千厩字東小田90 ショッピングモールエスピア内	34-7787	○	—	—	—	
東山	阿部医院	東山町長坂字町379	47-3898	○	○	—	○
室根	室根診療所	室根町折壁字八幡沖117	64-2127	○	—	—	—
川崎	かわさきファミリークリニック	川崎町薄衣字久伝38-1	43-3770	○	—	—	○
藤沢	藤沢病院	藤沢町藤沢字町裏52-2	63-5211	○	○	○	○
平泉	ひらいずみ内科クリニック	平泉町平泉字志羅山3-6	34-1133	○	○	—	○

* 診察を受けるにはあらかじめ予約が必要な場合があります。事前に電話で確認して下さい。

令和6年1月改訂

認知症

あんしんガイドブック
(認知症ケアパス) 概要版



あんしんガイド

認知症の人とその家族が住み慣れたまちで暮らし続けることができるよう、認知症の状態に応じた適切なサービスの流れなどをまとめたものです。

相談窓口

「認知症地域支援推進員」は認知症に関する相談や家庭訪問、正しい知識の普及啓発、地域の見守り体制づくりなどを行っています。

マークの場所に在籍していますので、お気軽にご相談ください。

施設名	担当範囲	住所	電話
一関西部 地域包括支援センター	山目・中里・巖美・萩荘	竹山町7-2 (市役所本庁舎内)	21-8618
さくらまち 地域包括支援センター	一関・真滝・舞川・弥栄	三関字桜町36-3 (サン・アビリティーズ一関内)	48-3180
はないずみ 地域包括支援センター	花泉	花泉町涌津字一ノ町29 (市役所花泉支所内)	36-3021
一関東部 地域包括支援センター	千厩・室根・川崎	千厩町千厩字北方174 (市役所千厩支所内)	51-3040
しぶたみ 地域包括支援センター	大東・東山	大東町沢民字大洞地55-8 (大東保健センター内)	71-0053
ふじさわ 地域包括支援センター	藤沢	藤沢町藤沢字町裏52-2 (老健ふじさわ内)	63-3181
ひらいずみ 地域包括支援センター	平泉町	平泉町平泉字志羅山8-8	34-4601

認知症とは

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が減少したり、働きが低下することにより、記憶やさまざまな状況

に対する判断に障がいが起こり、生活する上で支障がでている状態をいいます。誰でもなり得る可能性がある病気です。

認知症の“種類”と“特徴”

種類	特徴
アルツハイマー型	・物忘れが徐々に進行しますが、礼節は保たれます。 ・最近の記憶が不得意になり、繰り返し同じ話をします。 ・返答に窮すると取り繕い、物取られ妄想がよく見られます。
レビー小体型	・幻視(目の前にないはずのものが見える)、パーキンソン症状(震え、動作緩慢など)が見られます。 ・薬剤過敏性があり、微調整を要します。
前頭側頭型(ピック病)	・意欲や理性、感情のコントロールが困難となります。 ・万引きや信号無視など自分勝手な行動をとります。 ・診療拒否、易怒性が見られることもあります。
脳血管性	・脳の損傷部位により麻痺や意欲低下を伴うことがあります。 ・症状がまだらに現れたり、感情失禁や夜間せん妄が見られることもあります。

種類	特徴
軽度認知障害(MCI)	健常者と認知症の中間の認知症予備軍。軽い記憶障害はあっても日常生活には大きな支障がなく過ごせる状態です。この状態から治療や予防を始めると発症を防いだり、遅らせることができます。
若年性認知症	認知症は高齢者の病気と思われがちですが、若い世代でも発症します。「忘れっぽくなった」「失敗が増える」など仕事に気づくことが多いと言われています。早めに気づき、治療を受けることで症状の進行を緩やかにできると言われています。

あんしんガイドブック

ホームページでダウンロードできます

あんしんガイドブック



一関市



平泉町

ご覧いただいている「認知症あんしんガイド」を詳しく書いた冊子が「あんしんガイドブック(認知症ケアパス)」です。

- 相談窓口でも配布しています。
- ◇地域包括支援センター
 - ◇一関市長寿社会課 支所市民福祉課
 - ◇平泉町保健センター

認知症の人の生活の変化と支援

認知症かもしれない(気づき)		軽度	中度	重度	
状態	認知症の疑い	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助けが必要	常に介護が必要
日常生活の例	<ul style="list-style-type: none"> 物忘れがある。 買い物や金銭管理を1人でできる。 日常生活は自立している。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物や金銭管理にミスがみられる。 日常生活はほぼ自立している。 	<ul style="list-style-type: none"> 服薬管理ができない。 電話の応対や訪問者の対応が1人では難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 着替えや食事、排泄がうまくできない。 	<ul style="list-style-type: none"> 意思の疎通が困難。 日常生活全般において介助を必要とする。
家族の心構え	<ul style="list-style-type: none"> 認知症について正しく理解しましょう。 普段の暮らしの中でこころや体調の変化に気づけるよう心掛けましょう。 気になる様子を感じたら、早めにかかりつけ医や相談機関に相談をしましょう。 		<ul style="list-style-type: none"> 介護で困ったことがあったら、抱え込まずに地域包括支援センターやケアマネジャーに相談しましょう。 介護サービスや公的支援制度を活用しましょう。 		

一関市・平泉町の認知症あんしんサービス

介護予防 交流の場

- 介護予防事業
- 健康相談・訪問事業
- 老人クラブ
- 認知症の人と家族の会
- 認知症カフェ
- ふれあいサロン

仕事・役割支援

- 認知症サポーター養成講座
- シルバー人材センター
- ボランティア活動

安否確認 見守り

- 緊急通報システム
- 徘徊高齢者SOSネットワーク
- 民生委員・児童委員
- 救急医療情報キットの配布

生活支援

- 高齢者福祉乗車券
- 高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業
- 移動支援サービス
- 配食サービス
- 日常生活自立支援事業
- 成年後見制度

介護保険サービス

- 訪問介護
- 通所介護
- 小規模多機能型居宅介護
- ショートステイ
- グループホーム
- 訪問入浴介護
- 訪問看護
- 介護老人保健施設
- 特別養護老人ホーム
- 福祉用具貸与・購入
- 住宅改修

家族支援

- 在宅介護者の集い
- 認知症の人と家族の会
- 認知症カフェ
- 地域包括支援センター
- 認知症地域支援推進員

医療

- かかりつけ医
- 歯科医
- 薬局
- 専門医(医療機関)
- 認知症疾患医療センター

認知症を予防するためのポイント

運動習慣

- ウォーキングや体操は身体機能の維持・向上になり、認知機能の維持、向上など脳にもよい影響を与えています。
- 家事を行うことで体を動かしたり、買い物で乗り物を使わないなど、意識的に歩きましょう。

食生活

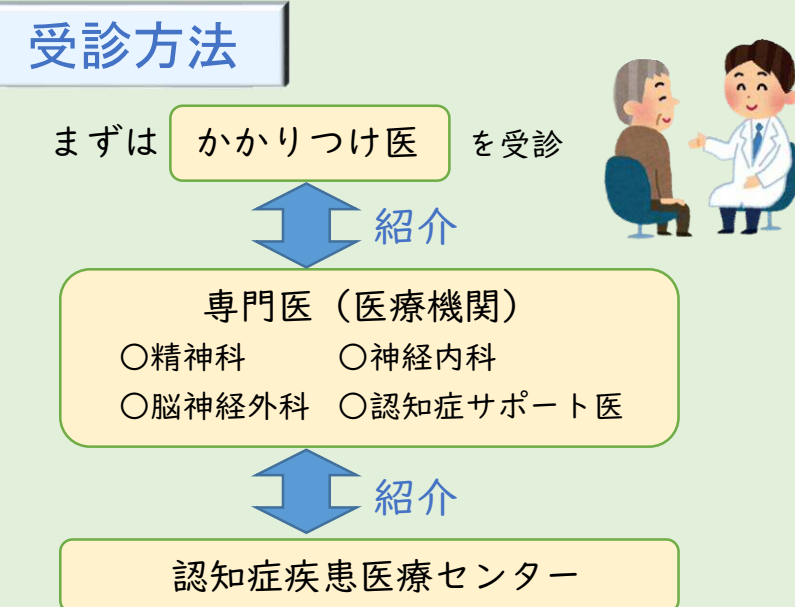
- 塩分・糖分は控えめに、栄養バランスのとれた食事をしましょう。
- 栄養バランスを整えると、肥満、糖尿病、高血圧、脂質異常症、動脈硬化などの生活習慣病の予防になります。
- 青魚、野菜、くだものを摂ることで認知症予防も期待できます。

口腔ケア

- ゆっくり、よく噛んで食べましょう。よく噛むことは、消化に良いだけでなく、脳の血流を増加し、脳の活性化を促します。
- 食後は歯磨きを行い、入れ歯の方も口のケアをしっかりと行いましょう。歯周病予防や治療に取り組むことは、認知症の予防に有効といわれています。

趣味・役割

- 囲碁・将棋・読書・音楽・ものづくり・パソコンなどの趣味は、思考力や集中力を使います。趣味の活動を楽しんだり、レクリエーションを行うことは、脳を活性化させます。
- 地域や家庭で役割を持ち、自分らしい生活を過ごしましょう。



※ かかりつけ医がない場合や病院受診が難しい場合は、地域包括支援センターへ相談してください。

認知症の発症には、生活習慣病や病気が大きく関係しているといわれています。生活習慣病の予防は、認知症の予防にもつながります。また、生活習慣病になった場合は症状をコントロールすることが大切です。※ 認知症の予防とは「認知症にならない」という意味ではなく「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味です。